

3号機 補助建屋における自動火災報知設備の作動 (非火災報) について

平成 18 年 8 月 31 日

発生号機	3号機 (定期検査中) :沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成18年8月31日
発生時の状況	午前11時03分、補助建屋地下2階 (放射線管理区域内)および2階 (放射線管理区域外)において、自動火災報知設備が作動しました。 その後、午前11時36分、補助建屋3階 (放射線管理区域外)において、自動火災報知設備が作動しました。 直ちに現場の確認を行い、それぞれ火災ではないことを確認しました。
原因	火災感知器からの信号を監視盤 ()に伝送する基板に、故障が発生していると推定されます。
対策	当該基板の取り替えを実施します。 また取り替えが終了するまでは、当該基板が監視するエリアの巡視を実施します。
お知らせ基準	表2 - 16」に該当します。

監視盤は中央制御室に設置され、火災感知器が作動した場所を表示します。

以上